

2012年3月期第2四半期 業績説明会

業績総括及び事業方針



2011年11月10日
住友林業株式会社
代表取締役 社長 市川 晃

- ①東日本大震災について
- ②2012年3月期 上期の総括
- ③2012年3月期 通期について
- ④最後に

復旧・復興に向けた取組み

- 震災を通じて、BCPや防災のあり方について**多くのことを再認識**。
- 宮城・福島両県で**約500棟の応急住宅**建設。
- 業績への影響は軽微。大幅な市況の低下は発生せず。
- 企業として引き続き精一杯復興活動を支えていく。



応急住宅(宮城県)



応急住宅(宮城県)

売上高・利益共に大幅増加

<市場環境>

- 住宅取得促進策の影響もあり比較的堅調に推移。

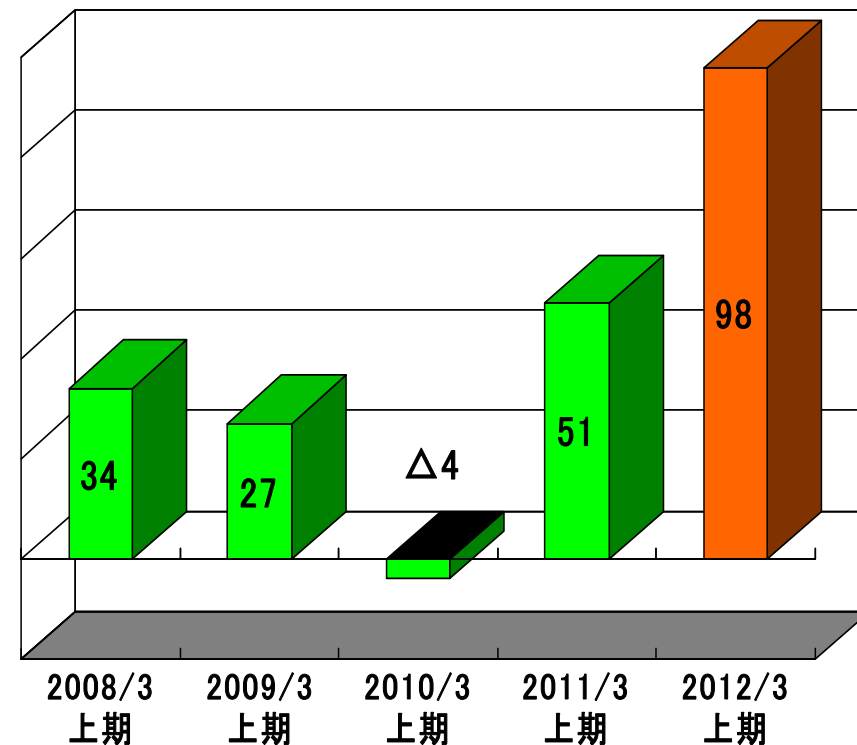
<木材建材事業>

- 国内合板の供給不足に対応し、輸入合板を中心に取扱量拡大。

<住宅事業>

- 繰越工事中物件の増加による引渡し棟数の増加。
- 外構一体受注比率、環境機器搭載比率上昇などに伴う1棟あたり単価の上昇。

「第2四半期決算の経常利益推移(億円)」



通期業績計画を期初予想から上方修正

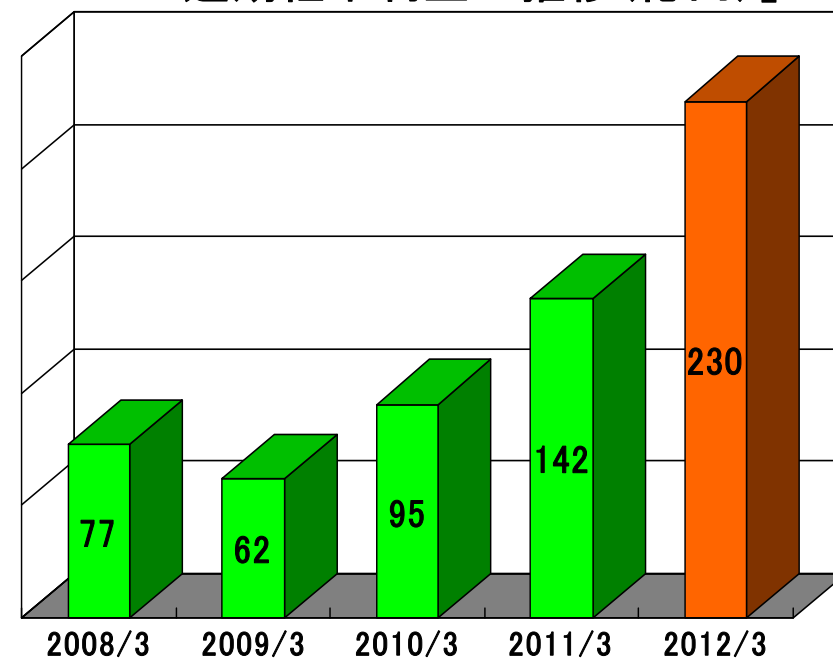
<市場環境>

- 厳しい欧州情勢、低成長を続ける米国経済など成長率の鈍化が避けられない状況。
- 日本経済についても、円高、海外シフト加速、設備投資低迷など予断を許さない状況。
- 復興需要に加え、住宅取得支援策の**継続が見込まれる**ことから、下期も住宅着工戸数は堅調に推移すると予想。

<通期業績計画>

- 売上高は前期比+4%の**8,300億円**
経常利益は前期比+62%の**230億円**を計画。

「通期経常利益の推移(億円)」



<木材建材事業>

調達商品の差別化、地域戦略の推進

- 植林木、森林認証材、国産材といった資材の調達に注力し差別化を推進。
- 木材・建材の販売・流通は復興需要に的確に対応。在庫についてはゼロベース営業を徹底。
- JHOPや3PL事業（ホームエコ・ロジスティクス）の深耕で地域戦略を推進。
- 川崎バイオマス発電は、社会ニーズに応えフル稼動を継続。クリーンエネルギーの供給に注力。



森林認証材



川崎バイオマス発電

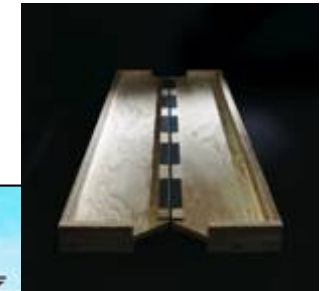
<住宅事業>

「提案力」を活かした商品展開を実施

- 期初より注力してきた、**BF構法**および**地震エネルギー吸収パネル(GSパネル)**の拡販継続。
「耐震性」「安全性」へのニーズに対応。
- 顧客の生活に対する「**提案力**」を活かした 新商品、「**mamato(ママト)**」および「**ikiki(イキキ)**」の発売。
- スマートハウスは、モニター住宅のデータ収集・解析を実施中。
- 期初より強化しているアパート事業の受注(金額)は前年同期比+48.3%。
下期以降も強化を継続。



BF構法



GSパネル



スマートハウスモデル展示場
(横浜みなとみらい)

＜住宅事業：新商品＞

mamato (ママト)

「ママをハッピーにする」
多彩なアイデアを提案



ikiki (イキキ)

「こちよい距離感」
が保てる二世帯同居を提案



＜リフォーム事業＞

首都圏を中心に経営資源を集中投下

- リフォーム事業（住友林業ホームテック）の業績は順調に推移。
- 最大市場である首都圏を中心に人員等の経営資源を投下。
- 定価制戸建リフォーム商品の販売エリアを全国に拡大して受注体制を強化。
- マンションリフォーム専門部門の立ち上げ及び不動産会社との提携により需要獲得。
- 統一ブランド「Reforest(リフォレスト)」の認知度上昇を図りシェアを拡大。



マンションリフォーム実例

<海外事業>

メリハリをつけながら「攻め」の姿勢を継続

<上期実績>

- 豪ドル高による**豪州製造子会社**の苦戦や**中国の合板事業**の立ち遅れ

<下期にむけて>

- 世界的な市場低迷、米国住宅市場の回復の遅れなど環境は依然厳しい。
- まずは不振会社の業績建て直しに注力。
- メリハリをつけつつ**「攻め」の姿勢を継続。**

- インドネシア事業所を現地法人化(5月)。
- 米国キャビネット製造会社買収(7月)。
- ベトナムPB工場の稼動開始(11月予定)。



米国キャビネット製造会社



ベトナムのPB工場

＜不動産事業＞

戸建分譲住宅の拡販とマンション販売の加速

- 戸建分譲事業は上期出遅れたものの、下期は住友林業ホームサービス内に戸建分譲住宅販売の専任部門を設置。下期の販売棟数は、前年実績を上回る見込。
- 低金利環境などを活かし、一次取得者を中心に需要は底堅く、引き続き販売活動を推進。
- 横浜市綱島「ザ・ハウス港北綱島」と愛知県岡崎「グリーンゲートレジデンス」分譲マンションの販売を加速。



戸建分譲事業(京王堀之内)



分譲マンション「グリーンゲートレジデンス」(愛知県岡崎市)

- 自然素材である「木」を良く知り、価値を高めてきた企業として新たな木の活用を訴求する。



当社グループイベント「サステナブルフォレストギャラリー-2011autumn」



BS日テレ「森人」

世界の人口増加が続くなか、「木」はこれからの未来に必要な資源。

住友林業グループは、「木」のエキスパートとして、今後も「木」の可能性を引き出し、付加価値を高め、人々の暮らしと社会に貢献してまいります。



本資料上の予想数値は現時点での予測に基づいており、
実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

2011年11月10日

 住友林業株式会社